

**製品名: ATG5 マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM81909**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG2b
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	32.4kDa

**抗原情報**

遺伝子名	ATG5
別名	ASP; APG5; APG5L; hAPG5; APG5-LIKE
遺伝子 ID	9474.0
SwissProt ID	Q9H1Y0
免疫原	大腸菌で発現したヒト ATG5 (AA: 144-275) の精製された組み換え断片。

**背景**

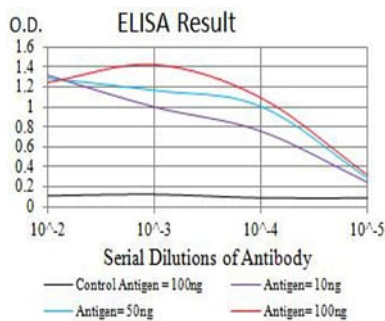
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、オートファジータンパク質 12 と結合して、ユビキチン様結合システムにおいて E1 様活性化酵素として機能します。コードされるタンパク質は、オートファジー小胞の形成、酸化損傷後のミトコンドリアの品質管

理、自然抗ウイルス免疫応答の負の調節、リンパ球の発生と増殖、MHC II 抗原提示、脂肪細胞分化、アポトーシスなど、いくつかの細胞プロセスに関与しています。この遺伝子には、異なるタンパク質アイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが見出されています。

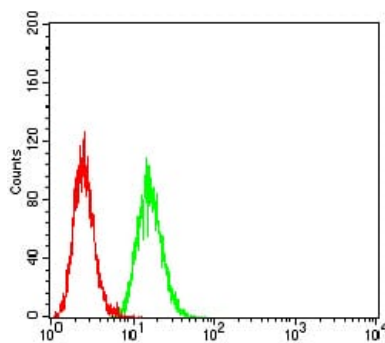
## 研究分野

オートファジー、アポトーシス

## 画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



ATG5 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した Hela 細胞のフローサイトメトリー分析。